

令和三年度

関わり続ける定住のカタチによる結の故郷づくりに向けた
基盤的研究

報告書

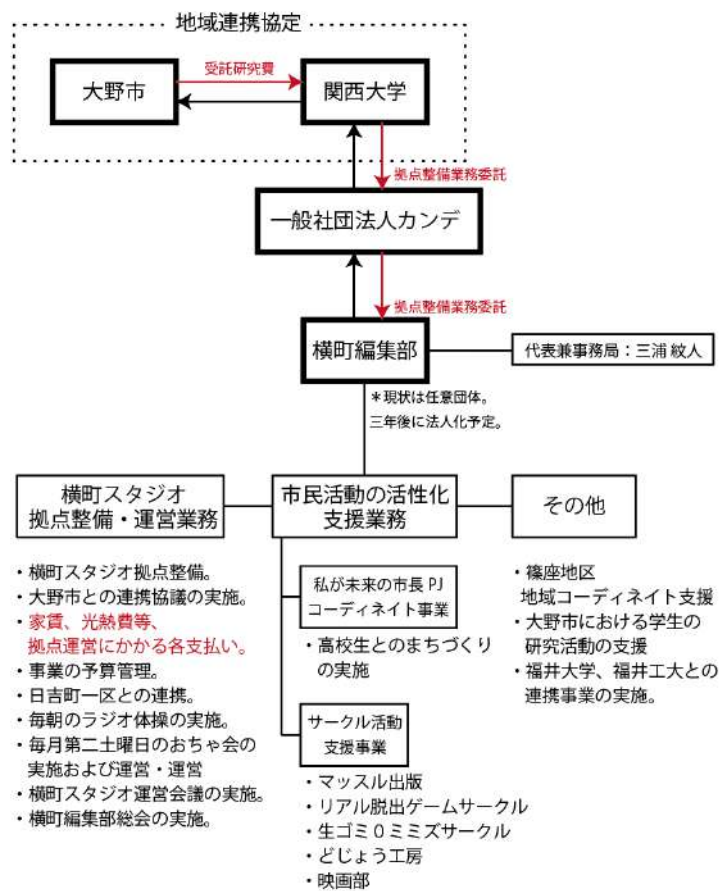
令和四年3月

関西大学

1. 本研究は、関西大学建築環境デザイン研究室が、大野市と関西大学の連携協定に基づいて実施した「関わり続ける定住のカタチによる結の故郷づくりの基盤的研究」において開設した地域拠点横町スタジオの継続と発展を目的としている。横町スタジオが地域拠点として、今後も継続的な運営を行うための環境づくりのため、関西大学と一般社団法人カンデ、横町スタジオの運営を行う地域団体、横町編集部が協働して行った。上記の目的の実現に向けて、下記の取り組みを実施した。

1. 地元住民と学生による交流事業「横町スタジオお茶会」等の実施
2. 地元住民と大学生の交流活動として「空き家リノベーション」の実施
3. 地元住民と横町スタジオの運営検討として「横町まちづくり定例会」の実施
4. 地元高校生と協働し、まちづくり活動を実践する「まちづくりゼミ」の企画
5. 地元の青年団体が行うまちづくり事業のコーディネート業務及び企画

横町編集部による横町スタジオの運営体制



2.研究の概要

研究期間：令和三年4月1日(木)～令和四年3月31日(木)

名称	日程又は期間	活動内容
横町スタジオ拠点整備	4月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・家賃、光熱費等の支払い。 ・拠点の維持管理。 ・浄化槽整備、点検。 ・予算管理。 ・自治会との連携。 ・毎朝のラジオ体操の実施。
	5月～7月	<ul style="list-style-type: none"> ・横町スタジオ飲食店の営業許可申請にかかる書類作成等。 ・横町スタジオ改修。 ・食品衛生管理講習の受講。 ・福井県コロナ対策のための改修。
	月に一回程度	<ul style="list-style-type: none"> ・大野市との連携協議の実施。
	全16回 9/3～毎週火曜	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の声を聞くお茶会の実施。
	5/15,7/18,9/25	<ul style="list-style-type: none"> ・横町スタジオ運営会議の実施。
	12月-3月	<ul style="list-style-type: none"> ・月に一回の横町通信の発行。
市民活動の活性化支援	全6回 第四日曜日 9/18	<ul style="list-style-type: none"> ・マッスル出版サークルの活動読書会の実施。 ・自費出版物の制作。
	6/6,6/26	<ul style="list-style-type: none"> ・リアル脱出ゲームサークルの活動。 ・リアル脱出ゲームサークルの活動。 ・周遊型脱出ゲームの企画・実施。 2月11・12日(中止)
	4月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ミミズコンポストサークルの活動。 日吉町一区生ゴミ処理活動。 ミミズコンポストの商品化に向けた設計、施工。
	5月～6月	<ul style="list-style-type: none"> ・横町映画部サークルの活動 映画「いのちの停車場」大野特別上映会の実施。 横町スタジオ映画上映に向けた改修。 大野市文化事業支援補助金の申請にかかる書類作成等。

名称	日程又は期間	活動内容
市民活動の活性化支援	4/9,7/11	・MKO サークルの活動。
	11月-3月 毎月第二火曜日	・朝ごはん会サークルの活動。
	2月	・横町発酵せんべろチームの発足。 ・横町テントサウナチームの発足。
私が未来の市長プロジェクト支援事業	4月-9月	・企画等。
	7/20,7/25,9/27	・大野市との打ち合わせ。
	毎月月曜日	・大野高校生の空き家活用提案の授業支援。 ・報告会パワーポイントの作成（中止） ・活動まとめA4資料の作成。
報告会	2/27	・関西大学まちづくり研究報告会の実施。
その他	5/30,7/13,9/23	・篠座地区まちづくり活動支援事業
	7/24,8/29	・マイカレーライスプロジェクト
	11/27	・ノルディックウォークイベントの実施。
研究支援	随時	・関西大学学生の研究活動支援。 (楠見ゼミ、北詰ゼミ、江川ゼミ) ・協働する学生のチカラの作成。

3.横町スタジオシェアハウス計画の研究

3-1 スタジオシェアハウス改修計画 仕様チェックリスト 保存版

用途について

組合の構成員の居住の用に供するとしても、使い方がシェアハウスならば寄宿舍に該当と
のこと。

→寄宿舍に用途の床面積を 200 m²未満にすること。かつ、延べ床面積の過半数以上が専用
住宅であること。

LVS

寄宿舍に該当する床面積が 200 m²未満であったとしても居室には防火上主要な間仕切り
が必要。

→コスト大のため、解決策として

- ・各階の居室の床面積が 100 m²以下であること。専用住宅部分の居室も 100 m²に計算する
- ・各居室に住宅用防災警報機
- ・各居室の出口から屋外に通じる出口までの歩行距離が 8 m。

(壁にあっては、床面から 1.2m 以下を除く、かつ天井を難燃材料で仕上げた場合は 16m
とすることができる。)

- ・居室の出入り口は、常時閉鎖または自動的に閉まるもの。(参考画像あり。)

詳しくは 3 5 条の 2、居室難燃・通路準不燃

階段について

- ・蹴上 2 3 センチメートル、踏面 1 9 センチメートル
- ・階段の両側に手すりを設置。
- ・段鼻に滑り止め設置。

専用住宅と寄宿舍の境目は明確に区分

通路に非常用照明 1 2 6 条の 4

3-2 提案部会での検討

1/26 実施 担当：足立、木村

3-2-1 予算に関して

スタジオ改修予算

収入:	¥1,177,490	拠点改修費:	¥255,990
支出:	¥921,500		

年間収入	金額
横町編集部実行予算	¥1,177,490
補助金	¥0
関西大学奨励金	¥0
その他	¥0

横町編集部実行予算: ¥1,177,490
補助金: ¥0
関西大学奨励金: ¥0
その他: ¥0

年間支出	金額
拠点維持管理運営費	¥569,000
市民活動活性化支援事業	¥170,000
大野市地域活性化事業	¥70,000
その他(交通費等)	¥112,500

拠点維持管理運営費: ¥569,000
市民活動活性化支援事業: ¥170,000
大野市地域活性化事業: ¥70,000
その他(交通費等): ¥112,500

参考：令和3年度 大野受託研究予算計画書

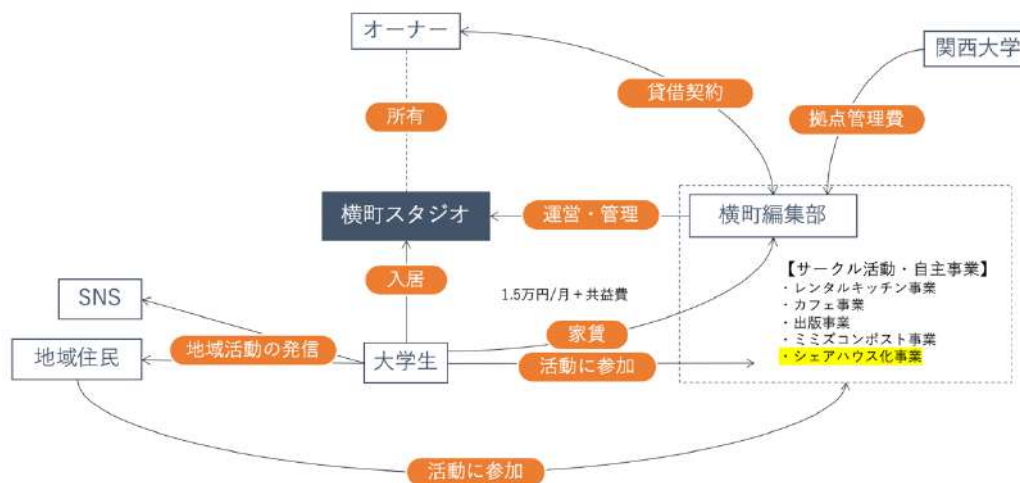
3-2-2 スケジュールに関して

全体スケジュール

2022	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
主要イベント	提案部会 春休 ★まちづくり報告会				★奨励金応募			夏休 ★入居スタート				
与件整理	完了				見積り							
法の確認	完了				資金調達							
企画・設計	基本設計			実施設計								
実施			図面チェック	図面チェック	改修WS(福井大)		階段・建具工事				電気工事	
仕組みづくり				福井大交流会		ルールブック作り						
契約関連		入居者募集	スタジオ見学・相談					★契約		プレ入居期間		
成果物				奨励金企画書 基本設計書				発注書			奨励金中間報告書	

3-2-3 プロジェクト関係者に関して

地域住民と大学、居住者の連携するしくみ



3-2-4 改修提案のイメージ



3-2-5 シェアハウス空間のイメージ



3-2-6 提案部会議事録

1. 日時 2022年1月26日(水)13:00~15:00
2. 場所 関西大学梅田キャンパス
3. 出席者 江川先生、安原さん、三谷さん、伊東くん（北詰ゼミB4）、足立、木村
4. 議題

(1) 横町スタジオシェアハウス化PJ

■ 進め方について

- ・地元の設計事務所に相談して、一緒にやれば良い
- ・打ち合わせでは一般論の回答を聞くのではなく、スタジオ（具体）を見てもらって、考えている暮らしをどうすれば実現可能かを相談する必要がある
- ・提案部会をするのは、ある程度実現可能性のある絵をつくってから

■ シェアハウス化することについて

- ・シェアハウス部分と住宅部分の分け方が重要（分け方は結構大変）
- ・申請は市でやるのか県でやるのか把握しておく
- ・下宿だったらこのままでいけるんじゃないか
- ・肩書きシェアハウスにして実態下宿とか？
- ・大学生が暮らすなら今と変わらないのでは？
- ・スタジオ全体がシェアハウス+個室が3つ独立したかたちでいい

→区画しちゃったら今までの意味がない

■ 居住者について

- ・ニーズを調査する必要あり（不動産関係の人に聞く）

3-3 横町スタジオ居住募集要項 検討案

[入居条件]

- ・大学または大学院に在籍していること。
- ・地域住民の方へ挨拶などコミュニケーションを積極的に行えること。
- ・大野での暮らしと横町スタジオでの地域活動を SNS で発信できること。
- ・まちづくりに興味関心があること。
- ・横町スタジオの運営維持管理を自主的に行えること。

[家賃]

- ・15,000 円/一人
- ・共益費 5,000 円/一人（光熱費、Wi-Fi 込み）
- ・敷金・礼金なし

[設備・家具]

- ・設備：各部屋エアコン付き
- ・家具：各部屋収納あり
- ・共用部分設備：Wi-Fi、共用キッチン、レンジ、冷蔵庫、洗濯機、乾燥機、トイレ洗面×2、風呂、コーヒーメーカー、工具、飲食店営業許可取得のキッチン、プリンター、書籍。
- ・共益費は定額 5,000 円。ただし、冬季（12~3 月）は、別途共用部の灯油代を入居者で等分に負担いただくことがあります。

[改修]

- ・横町スタジオ：関西大学建築環境デザイン研究室（江川直樹）
- ・改修は随時行っています。それぞれの個室も、改修可です。
（2022年度の改修期間中は、家賃無料あり）

[お問い合わせ先]

横町編集部

〒912-0051 福井県大野市日吉町 1-7 関西大学横町スタジオ

企画運営：横町編集部 代表 三浦紋人

TEL：080-2741-7614

MAIL: yokomachi.hensyubu@gmail.com

[募集スケジュール]

応募締め切り：2022年3月10日

入居希望者は、2022年3月10日までに下記内容を横町編集部
yokomachi.hensyubu@gmail.com までにメールお申込みください。（様式自由）

- ・名前、住所、学校名、学部、生年月日、性別
- ・志望動機 200 字以内
- ・大学で学びたいこと
- ・趣味や特技など
- ・卒業後の進路希望
- ・横町スタジオでやってみたいこと
- ・横町スタジオ&横町編集部に期待すること。

内覧会・面談は入居希望者と相談の上行います。

4.研究の成果

活動初年度から関わっている学生が大学院を卒業し、現在は地域おこし協力隊として大野市へ移住した三浦氏を中心に、横町編集部の立ち上げ、及びその支援を行った。今年度は、横町スタジオの運営団体、横町編集部の立ち上げとその実用の初年度であった。発足の理由としては、地域拠点横町スタジオを継続的に自立した拠点とするための組織づくりである。これまで横町スタジオの活動は、関西大学建築環境デザイン研究室の学生及びOBが牽引してきたが、継続的な運営という観点から、大阪から関西大学の学生が積極的に大野に関わるというのは距離的・資金的にも難題であった。事業開始から5年が経ち、この先長く活動していくためには、関西大学を中心としながらも、地元の住民や学生を巻き込んだ総合的な研究、及び関わり続ける定住の実践のあり方が求められると感じている。その足がかりを掴むべく今年度活動してきた横町編集部であるが、市民活動の活性化支援事業と題して、住民のサークル活動を積極的に支援するという取り組みを開始した。この取り組みは、地元住民を巻き込んだ拠点運営を狙ってのことだが、早くも拠点運営等に興味を持つ住民が関わるようになってきている。これまでの組織体制から、より住民目線、住民主体の横町編集部の体制が功を奏したように思う。

さらに、横町編集部としては、横町スタジオにて飲食店営業許可の取得、および台所の改修をおこなった。この取り組みは、横町スタジオの環境づくりとして位置付け、お茶会での住民の要望を元に開始している。

また、自力かつ継続的に横町スタジオを運営していくことを目的として、21年より、運営費捻出のための社会実験を実施した。筆者としては、大学の研究活動とは言え、活動の継続性の観点から自主事業を展開し、施設管理費程度は横町編集部が稼いでいける仕組みの必要性を感じている。そうした中で、今年度は映画の試写会事業、ミミズコンポスト事業、カフェ事業、レンタルキッチン事業、出版事業、およびシェアハウス事業構想を行ってきた。例えば、横町スタジオの土間部分に新設したキッチンでは、今年度飲食店の臨時営業許可を取得するなど、スタジオ環境の整備を図った。毎週火曜日は、自治会との協働によるカフェの運営が行われ、地域の持続性に貢献している。しかし、この事業だけでは自力運営は極めて困難であることも確認している。これまでの活動のように、地域課題の解決に貢献し、かつ自力運営をする、その“両立”が鍵であり、言い換えると、これからの5年の課題であろう。このような拠点モデルの形成が可能であることは、これまでの横町スタジオの活動を振り返ると十分に期待できると考えられよう。

また、わたしが未来の市長プロジェクトにおいては、関西大学社会資本研究室協働事業が展開されるなど、地域拠点と大学の研究室の協働のカタチが見えてきている。これは、大学がない大野市において、今後の大学連携の地域拠点を位置付ける意味でも議論を深めるテーマであると認識しており、ひいてはモデルケースになると考えている。

5. 研究の展望

横町編集部が主体となった横町スタジオの自立的な運営を目指すべく、スタジオのシェアハウス化を計画している。目的の一つは、家賃収入を得て、自立的な運営を目指すことである。近年、大野市においては、20代～30代の移住者が増えている一方で、その住宅はマンションでは2LDK、空き家ではかなり大きく、かつ家賃も高いため、単身者の住みたい環境とニーズの不一致が起きている。横町編集部では、そのような単身移住者に、家が見つかるまでのお試し住宅として横町スタジオを利用してもらい、かつ、地域と関わる場を提供したいと考えている。家賃は安く設定する代わりに、スタジオの地域活動のサポートに加わってもらうという枠組みで構想中である。

私が未来の市長プロジェクトにおいて、現在横町編集部賞という新たな賞を作ることを大野市と検討している。この賞は、横町編集部がスタジオで実現したい高校生の提案には、積極的に賞を与え、来年度実現するためのワークショップ等を行うという枠組みである。これは、大野市の高校生世代が、スタジオに関われる環境づくりの推進を目的としている。現在はまだ高校とのネットワークづくりの段階であるが、北詰ゼミとの協力、他の地域団体との協力など、拡がりのあるプロジェクトになることが期待できる。

シェアハウス計画については、大野市にはいまだない、住まい方の考案に役立てることができよう。大野に住む受け皿として、若い世代には大きすぎる家を小さく分割して住めることができるし、家賃の設定等、市場調査にもなりえよう。

一方で、高齢世帯には、一人暮らしの孤独という問題があり、施設に入るまでもなく、病院に行くでもない、しかしなんとなく心が寂しい高齢者が多くいることもわかった。この活動を通して、シェアという価値観のもと、高齢者シェアハウスの必要性についても発展できると考える。

6. 資料集

- ・活動状況の写真

写真1 サークル活動の様子



写真2 サークル活動の様子



写真3 飲食店営業許可取得のための改修の様子



写真4 横町スタジオ飲食店営業取得後のお茶会の様子



写真5 横町スタジオ飲食店営業取得後のお茶会の様子



写真6 横町スタジオ飲食店営業取得後のお茶会の様子



写真7 サークル活動の様子



資料8 横町スタジオサークル活動映画部の取材記事

助

た、23年度からは単一、年5回の講座と、市が指定するスペースへの引き出し以上の活用もできると、市が事業費を補助する。アパレル業界への関心も高まっている。市は、観光振興局へ向けて市四角のスペースに、市民が自由に使えるような活用を促している。市は、市民が自由に使えるような活用を促している。

空き店舗で映画地域の絆強める

大野、有志が上映会

大野市四角の有志でつくる市民団体「映画部」が18日、活動拠点を同市日吉町の空き店舗で地域の絆を強める。映画を通じた地域の絆を強める。上映会には、大野市四角の有志でつくる市民団体「映画部」が18日、活動拠点を同市日吉町の空き店舗で地域の絆を強める。上映会には、大野市四角の有志でつくる市民団体「映画部」が18日、活動拠点を同市日吉町の空き店舗で地域の絆を強める。

大野・富田を巡り 風景写真撮ろう リレー講座第1弾

大野市富田公民館は22日、地区内を巡り風景写真を撮影する「富田フォトウォーク〜風景写真の撮り方のコツを教えます〜」と題した講座を開く。市民対象で19日まで参加を受け付ける。市民の魅力をあらためて知

資料9 横町スタジオお茶会のチラシ

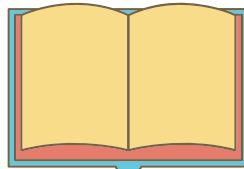


資料10 横町スタジオサークル活動 マッスル出版のチラシ

読書をしない
読書会
BOOK PARTY

準備は
図書館カードだけ!

みんなで楽しく
「本選び」しませんか?



日時：8月29日(日)16時～17時
場所：大野市図書館（2階和室）

～読書会の流れ～

1. 図書館内をグルグルめぐって、
一人一人「気になった本」を借りましょう
2. 「自分が気になった本」や
「みんなが気になった本」について
みなさんとゆっくりお話ししましょう

資料1 1 横町スタジオサークル活動ミミズコンポスト 研究

2021/05/27 (木)



資料1 2 横町スタジオサークル活動 MKO のプレゼン資料

M K O 
マッスル出版社 健全な お金の勉強会



写真13 横町スタジオ改修の様子



写真14 横町スタジオ改修の様子



写真15 横町スタジオ改修の様子 モザイクタイルの施工



写真16 日吉町一区新春餅つき&落語会の様子



資料17 横町スタジオミミズコンポストの新聞記事。 2/10 日刊県民福井



資料18 関西大学まちづくり研究報告会の募集チラシ。

写真19 ゆうカフェの様子



写真20 ゆうかふえの様子



写真21 ゆうかふえの様子



資料22 横町スタジオサークル活動 リアル脱出ゲームの募集チラシ



資料2 3 横町スタジオサークル活動。 リアル脱出ゲームの募集チラシ



写真2 4 横町スタジオサークル活動 リアル脱出ゲームの様子



資料 2 5 横町スタジオ 協働する学生のチカラ 2021 のページ

2022 協働する学生のチカラ

福井県大野市

関わり続ける定住のカタチによる 結の故郷づくり

2021年3月、大野市と関西大学は三年間の連携協定延長を発表した。今後は、横町スタジオの取り組みは、新たに新設され運営団体「横町編集部」が引き継ぎ、地域主体の拠点運営を目指す。本格的に始動した横町編集部の2021年を振り返る。



映画事業

映画「いのちの停車場」を全国に先立って大野で先行試写会を実施した。映画館がない大野で、住民らが知恵を出し合って実施にこぎつけた。横町編集部の初めての取り組み。



ミミズコンポスト

地域の8家庭の協力のもと、1ヶ月に30kgの生ゴミを処理できるようになった。今後は堆肥を作って、横町農園と名付けた地域農園を開設予定。地域で小さな循環を作り、「豊かさ」を思考したい。



ゆうカフェ

小さなカフェを開くために、スタジオの土間のキッチンを改装した。飲食店営業許可を必要としたため、地元の建築家に協力してもらい、工法・まちなか見え方に配慮したデザインとした。



横町通信

横町スタジオの取り組みの告知と、活動記録を目的に月に一回の発行を行っている。4年度からは、「高校生の日」や「朝ごはんの日」を作るなど、新たな取り組みが満載。



横町編集部 通信制作部
MAIL: yokomachi.hensyubu@gmail.com

関西大学横町スタジオ

資料 2 6 わたしが未来の市長プロジェクト 高校生配布用の資料

大野にあるみんなの拠点ー2022年空き家活用プロジェクトー

関西大学横町スタジオの活用をしてみませんか？

関西大学と横町編集部では、「高校生の地域愛着の醸成」というテーマで、アンケートやヒアリングの実施、そして毎週の探求の授業に参加させてもらい、研究活動をさせていただきました。この資料は、その成果を報告すると同時に、市長プロジェクトでのいくつかの提案を整理して、実現に向けての企画案を示しています。とはいえ、提案実現と言っても、みなさんの提案は、①規模が大きい②責任の所在が曖昧である。この二つの点から、残念ながらもそのまま実現できるものはありません。それゆえ、「提案した意味がない」と思われるかもしれません。

しかし、大学としては「自分たちが提案したことを少しでも実践してみること」に価値があると思っています。そこで、みなさんにお誘いします。関西大学横町スタジオに毎月「高校生がチャレンジする日」を作りたいと思います。その日は、友達と喋ったり、コーヒーを飲んだり、または勉強しても良いでしょう。ためにはイベントを開くのも良いかもしれません。自分たちで、「空き家の活用」や「イベントの開催」にチャレンジしてみてください。きっと関西大学の学生や、横町編集部の大人たちがアドバイスしてくれます。

関西大学横町スタジオ図解

空き家の活用もいろいろ！
まずは、自分たちが使ってみよう！
イメージを膨らませてみよう！

詳しくはコチラ！

関西大学社会資本研究室
横町編集部
アドレス：白吉町1-7(横町スタジオ)
MAIL: yokomachi.hensyubu@gmail.com

関西大学横町スタジオ



横町スタジオの活用例①
みんなでカレーを食べる、マイカレーライスプロジェクト。



横町スタジオの活用例②
週に一度、近所の人とソーシャルカフェ。

「高校生がチャレンジする日」は
毎月25日発行の「横町通信」にて告知！
*みなさんへのお届け方法は、今後検討します。



資料27 横町通信 スケジュール表ページ

横町スタジアムの行事予定表 **横町通信** 横町スタジアムをテーマに読め!

1

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
						1 祝日
2	3	4	5	6	7	8 おんご会 13:00-15:00 横町第二主催
9	10 横町お祭り	11	12	13	14	15
16	17	18 横町おんご会 19:00-21:00 横町第二主催	19	20	21	22
23 横町おんご会 19:00-21:00 横町第二主催	24	25	26	27 横町大学 シンポジウム 1オンサイト	28	29
30	31					

横町編纂部は、関西大学横町スタジアムを拠点として、地域の人が活躍する場、大学がない大野で大学生が研究活動をする場を作っています。横町通信では、多くの先輩の方々とコミュニケーション取りたいと思い、活動の継続を目的に月に一回の発行をしています。また、横町編纂部会員募集・スポンサー募集のご案内を随時しています。応援よろしくお願いします!

Page 2

資料28 横町通信 原稿ページ

横町スタジアムをテーマに読め! 活動記録と来年の予定をご紹介。

2021 | 12
No.1

横町通信

No.1 新年もちつき大会と寄席

よいしヨ!

横町スタジアムにも新しい活動の場、横町でもちつき大会を開催しました。

「もちつきと寄席」
 来年便から「もちつきと寄席」
 この企画は、地域の子育て世代の先輩がきっかけで実現しました。横町通信の発行が、思いがけず、地元の先輩が活躍の場を創り出していることに気づきました。横町通信の発行が、思いがけず、地元の先輩が活躍の場を創り出していることに気づきました。

「おんごは人気」
 横町通信の発行が、思いがけず、地元の先輩が活躍の場を創り出していることに気づきました。

「横町スタジアム」
 横町通信の発行が、思いがけず、地元の先輩が活躍の場を創り出していることに気づきました。

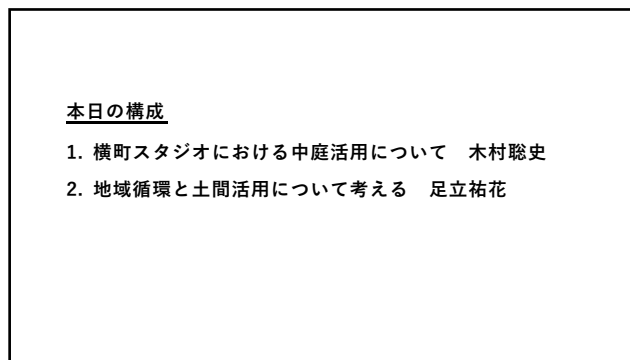
横町通信は、毎月25日あたり発行です。

5/5

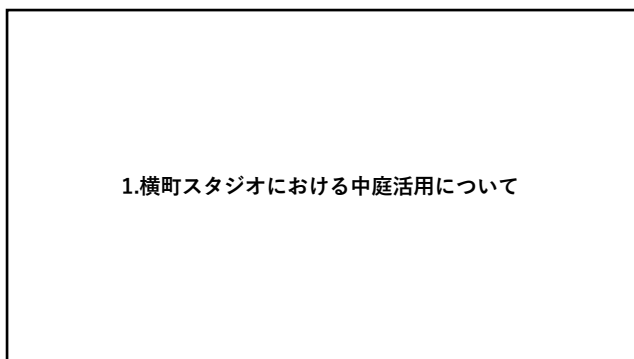
7. 関西大学まちづくり研究報告会での発表資料



1



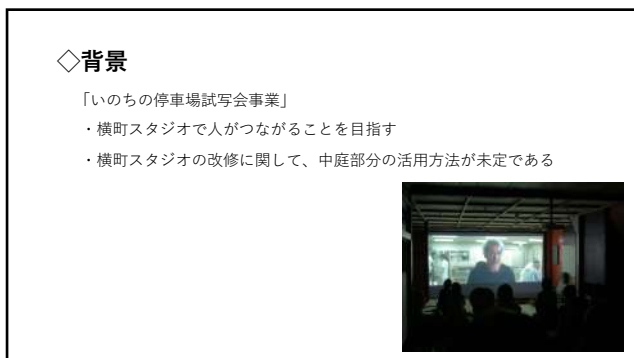
2



3



4



5



6

◇目的 なぜ中庭なのか？

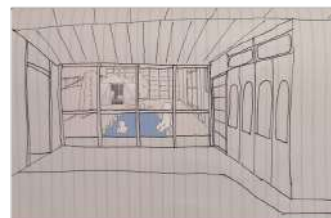
- ・横町スタジオの奥行きを活かす
- ・行為が積層する



7

◇私が中庭でやりたいこと

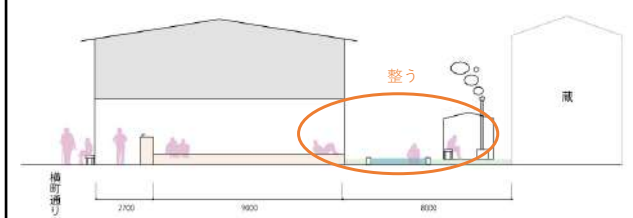
- 地域の人とテントサウナをする
- 裸の付き合いで色んな話を聞きたい
- 話を聞く中で、地域の人が考えるまちの課題などが見つかるのではないかな



8

◇この活動の効果

地域の人が通りから見て気になる、居座りたくなる



9

◇他にも

- ・横町スタジオにあるドラム缶を使ってドラム缶風呂をする
- ・銭湯に通う



10

2.地域循環と土間活用について考える

11



あだち ゆうか

足立 祐花と申します。

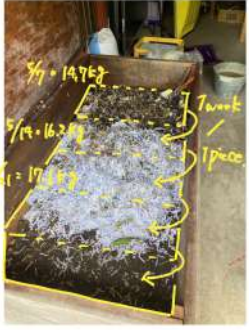


12

背景

①ミミズコンポスト事業(2020年6月～)

週30キロの生ゴミを処理
↓
生ゴミも分類できる
(ミミズが好む、分解が早いetc...)
↓
ミミズコンポストで分解しにくい野菜くず
↓
再利用できないか？



13

背景

②キッチン営業許可(2021年)

OB好田さんの取り組み
通りに向かったキッチンを定期的に
開く「ゆうカフェ」

土間が集う場になった



14

地域循環と土間活用について考える
+ 食

15

課題

大野の人柄、ホンネをもっと知ろう

食を通じたコミュニケーションが有効ではないか？

16

野菜くずを利用して、土間で“せんべろ”を開く

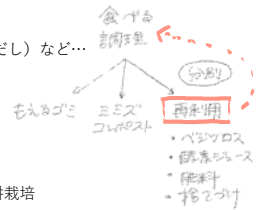
千円でペロペロになれる、
日常の気軽な一息。

17

野菜くずの活用方法

●再利用レシピ開発
酵素ミックスジュース、ベジプロス(だし)など…
地元飲食店と協働でレシピ開発
⇒発酵食…備える暮らし

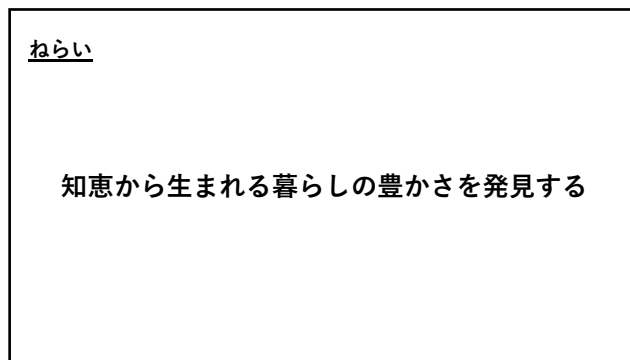
●堆肥化
●ぬか床の捨て置き
●リボンベジタブル(再生野菜)の水耕栽培



18



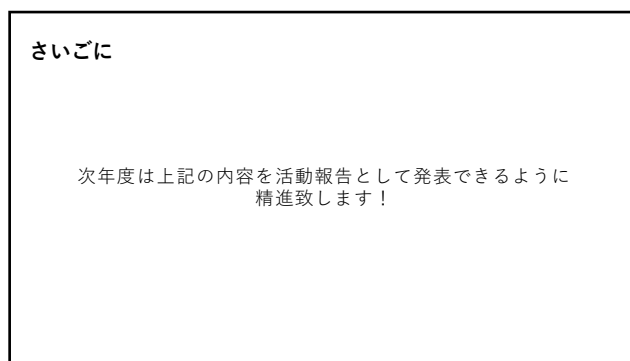
19



20



21



22